

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 富士ソフト株式会社（証券コード:9749）

### 【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- (1) 創立 50 周年を迎えた独立系の大手情報サービス事業者。主力の SI（システムインテグレーション）事業は、自動車・工作機械・デジタル家電などに搭載される組込ソフトウェアの開発や企業向けシステムの受託開発、システムの保守・運用、「PALRO」（コミュニケーションロボット）などの自社製品の販売、海外ベンダー製品のライセンス販売などを行う。需要分野は多岐に亘っており、安定した顧客基盤を持つ。ファシリティ事業ではオフィスビルの賃貸などを手掛け、業績の安定化に寄与している。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大を受け、足元、一部顧客の IT 投資にやや減速感はある。しかし、自動車の電装化やデジタルトランスフォーメーションの潮流に変化はなく、長期的に IT 投資需要は高まる傾向にあると考えられる。良好な顧客基盤、豊富な開発ノウハウや多様な専門人材を有することに加え、新技術への対応にも余念がなく、成長分野の需要を的確に捕捉していくものとみている。引き続き堅調な業績を維持できるだろう。また、財務体質は健全である。以上より、格付を据置、見通しは安定的とした。
- (3) 20/12 期は売上高 2,380 億円（前期比 3.0%増）、営業利益 136 億円（同 2.5%増）を計画している。新型コロナウイルス感染拡大が様々な経済活動に影響を及ぼしており、機械製造業やサービス業を中心に IT 投資は抑制傾向にある。一方、IT インフラやネットビジネスなど活発な分野もあり、SI 事業の受注は底堅く推移している。また、リモートワークなどに伴って、販売管理費の抑制効果も得られる。21/12 期以降も、一部顧客の投資動向に注意を払う必要はあるが、利益の下振れリスクは限定的と考えている。
- (4) 20/12 期第 2 四半期末の自己資本は 1,146 億円、自己資本比率は 51.4%であるなど、財務基盤は健全である。夕留などで開発拠点の整備を進めており、当面の設備投資は高い水準が続く見通しだが、キャッシュフロー創出力や自己資本の厚みに照らして、財務構成への影響は限定的にとどまるとみている。

（担当）千種 裕之・安部 将希

### ■格付対象

発行体：富士ソフト株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	150 億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年10月9日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「情報サービス」(2011年7月13日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 富士ソフト株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル